

第76回中部日本高等学校演劇大会 速報

2023年12月23日(土)

上演③ 愛知県 尾北高校

「SAKHALIN」

■本番を終えて

(部長) 1～3年生のこのメンバーでやる最後の舞台を全力でやりきれてよかったです。

(演出) 急きょ代役で出ることになり、やりきって一安心です。

■脚本の選択

毎年戦争ものを選んでおり、実際に樺太にあった真岡電話局の話を知って、戦争は一般人にも被害が及ぶこと、二度と起こしてはならないことを伝えたくて選びました。

■演出の工夫

薬を飲んで死ぬ場面で、最後まで生ききったことを表現するため、ホリゾントの色にプラスやマイナスの印象が強い(と自分は感じる)赤や青ではなく黄色を使いました。また、ロシア兵の行進が迫ってくる恐怖感が観客にも伝わるように工夫しました。

■苦労したところ

ありすぎますが、一番は、キャストの9人中6人がインフルエンザにかかり、ぶっつけ本番で合わせることになったことです。

■お客さんに一言

見てくださって本当にありがとうございました。戦争について知り、他人事にせず、実感を持って考えてもらえたらと思います。

第76回中部日本高等学校演劇大会生徒実行委員会 広報
(記事) 梅田、三浦